

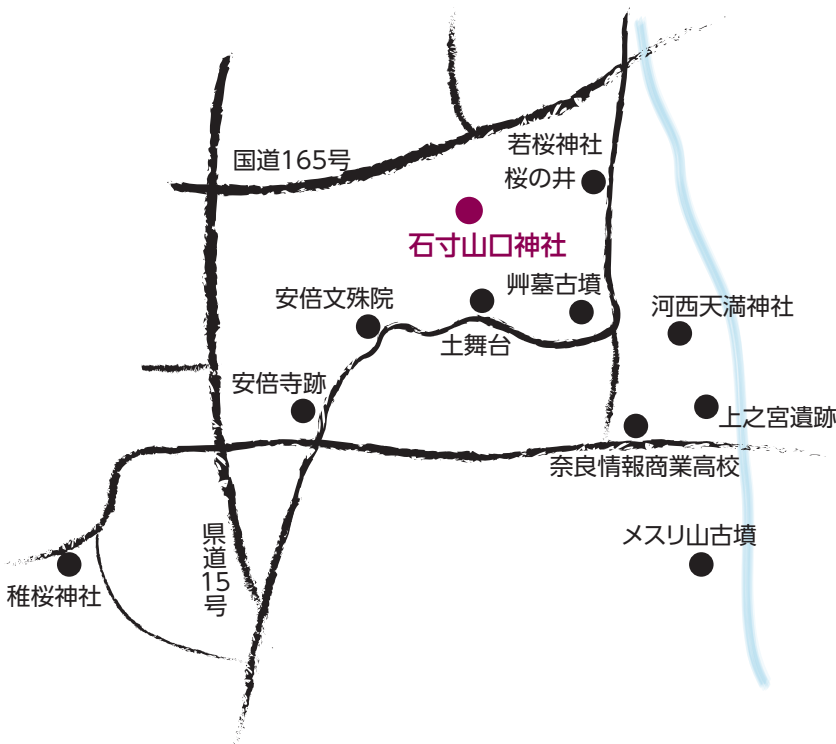
ひみこちゃんが
「大和さくらい100選」
一度は行ってみたいスポットを紹介 - その39 -

いわれ
石寸山口神社



桜井市は、古くから交通の要衝であり、近世以降に市場機能をもちました。周辺には、多武峰・宇陀・東吉野という豊富で良質な原木の生産地があり、かつ、京都・大阪・神戸という大消費都市が近接する好立地にあったことで、昭和前期から鉄道・道路の整備が進みました。

木材の輸送方法が陸送に代わるにつれ、桜井市では、製材工場が駅周辺から国道165号を中心に建設され、木材業界が発展していきました。宇陀、吉野等からの木材を集積し、桜井市から流通していたことで、木材業・製材業が集中的な発展を遂げ、桜井市の成長につながりました。



今回は、桜井のとおきを選んだ「大和さくらい100選」に選ばれている記紀万葉ゆかりの地「石寸山口神社」を紹介するよ！

石寸山口神社は大字谷にあり、山の神と崇められる大山祇神おおやまつみのかみをご祭神とします。大山祇神は、古事記によると神産みの*イザナギとイザナミの御子とされています。また、石寸山口神社は、平安時代中期に編纂された延喜式えんぎしきに記載されている神社（式内社とも呼ばれます）の1つでもあります。

平安時代中期の律令をまとめた法典である延喜式には、当時「官社」に指定されていた神社の一覧が記載されていました。この一覧にある神社は、朝廷から重要視され、当時から由緒のある神社と考えられています。

*イザナギ・イザナミは、日本書紀や古事記に記される男神と女神です。この2神により国が形づくられ、様々な神が生まれました。そのため国産み、神産みの神とされ、万物を生み出す祖神とされています。



山の神おおやまつみのかみ 大山祇神を祭神として、崇拝される由緒ある石寸山口神社は、木の街として発展し、多くの林業・製材業に関わる方々にとって、「木材の神様」として崇められているんですよ。



(提供 桜井木材協同組合 青年経営者協議会)

「ひみこちゃんのページ」

<http://www.city.sakurai.lg.jp/himiko/index.html>

観光まちづくり課

(☎ 42 - 9111 内線 342)

[twitter @himiko_chan](https://twitter.com/himiko_chan)